

発言通告書要旨 (1枚目/全2枚)

氏名 林 俊昭

発言番号		発言事項及び発言要旨	備考
1	(1)	<p>公共施設マネジメントの進捗と「加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）」の廃止について</p> <p>公共施設マネジメントについて</p> <p>「加賀市公共施設マネジメント基本方針」策定後の12年間で、どの程度、削減や統合が進み、その結果、具体的にどのような成果、特に住民サービス・利便性の向上や財政的な効果をあげることができたのか。</p> <p>また、旧山中温泉医療センター跡地を中心とした跡地活用の現状と今後についても示せ。</p>	
	(2)	<p>公共施設マネジメントと「加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）」との整合性について</p> <p>6月の教育民生委員会で、「加賀市立小中学校の規模適正化に向けて（基本計画）」の廃止が打ち出されたが、これは「加賀市公共施設マネジメント基本方針」とは相容れないのではないか。</p> <p>今後、どのように両者の整合性を図るのか。</p>	
2		<p>デジタル田園健康特区の進捗状況について</p> <p>デジタル田園健康特区の指定を受け、3年余りが経つが、この特区の肝である「医療版情報銀行」の進捗は、一体どうなっているのか、現状を示せ。</p> <p>また、茅野市や吉備中央町との3市の連携の状況についても示せ。</p>	
3		<p>今年度の市税収入の見込みについて</p> <p>7月30日の新聞報道で、実質交付税の配分が決まった、との記事が掲載され、加賀市は68億1,300万円余りとのことであった。そこで、今年度の当初予算を確認したところ、臨時財政対策債はなく、普通交付税の予算額が78億3,200万円であるため、10億円以上の減額となったわけである。</p> <p>今年度の市税収入の見込みについて、税目ごとに予算と対比しながら示せ。</p>	
4	(1)	<p>令和6年度決算について</p> <p>財政調整基金の取崩しによる黒字決算について</p> <p>令和6年度決算では、財政調整基金を10億円取り崩した上で、7億7,500万円の黒字となっている。つまり、実質は2億円を超える赤字であり、今年度への繰越金の3億8,700万円は、全額、財政調整基金を取り崩したものである。</p> <p>なぜ、財政調整基金を、出納整理期間という最後に10億円も取り崩したのか、詳細な説明を示せ。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
(2)	<p>避難施設整備費について</p> <p>身近で安全な場所に避難所があることは、地域住民にとっては一つの安心材料となるが、学校の体育館が避難所となっている場合、板張りで空調もないことから、地域住民が避難を躊躇することもあると思われる。</p> <p>現在、学校の体育館などの空調設備がない避難所はどれくらいあり、今後何年かけて空調整備に取り組む予定なのか。</p>	
(3)	<p>市長車運行管理業務費について</p> <p>昨年度は、委託料として58万5,000円が執行されているが、今年度の当初予算には、800万円が計上されている。</p> <p>外部委託をやめたという話を聞いた気もするが、やめたとすれば、その理由を含めたこれまでの経過と、今後の外部委託の方針について尋ねる。</p>	
5	<p>物価高騰対策水道料金基本料金免除事業について</p> <p>加賀市では、アパート等の集合住宅には、口径の大きい親メーターのみが設置されており、市のメーター検針も、親メーターのみに対して行われていると思う。</p> <p>このような集合住宅に入居している世帯は、今回の恩恵は受けられないのではないかと思うが、対象外となるアパート等の入居世帯に対しては、何か代替手段を検討しているのか。</p>	
6	<p>新しい加賀市市民水泳プールの利用料金について</p> <p>新しい加賀市市民水泳プールの利用料金に関する条例改正案では、個人利用の一般料金が、2時間で340円から800円と、倍以上となる。また、水泳教室などで使われるであろう専用利用の一般料金も、1コース1時間で1,590円から3,000円と、こちらも倍近くとなり、水泳教室の月謝などの値上がりにもなりかねないと危惧している。</p> <p>新しい加賀市市民水泳プールの利用料金の積算根拠を示せ。</p>	